

地域コミュニティと  
一体となった学校づくり

# コミュニティ・スクール



文部科学省

## Q コミュニティ・スクールって何？

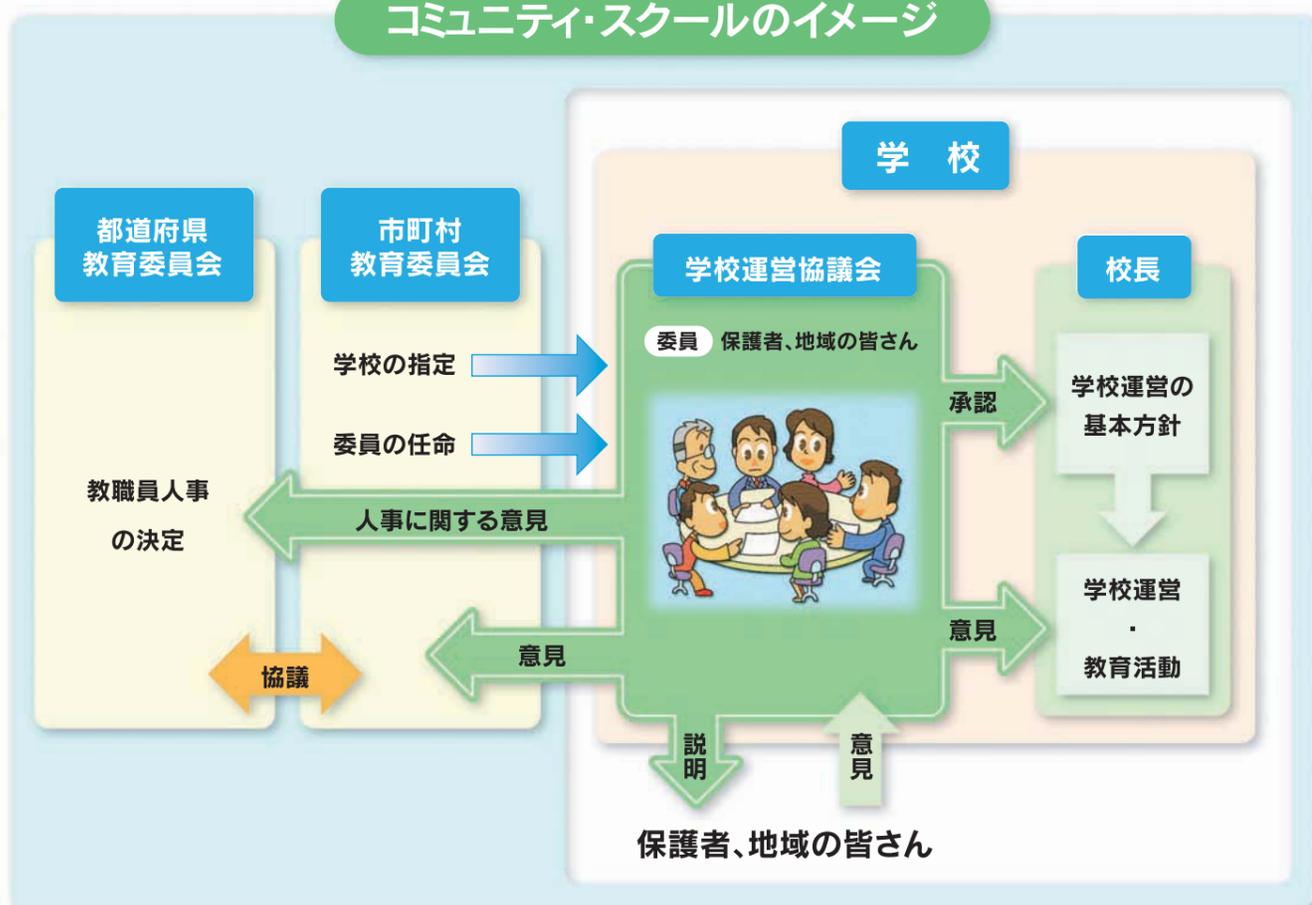
# みんなで地域の学校を盛り上げよう！

コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)は、地域の公立学校の運営にあなたの声を生かす新しい仕組みです。

いま学校は、「地域に開かれた特色ある学校づくり」を目指し、さまざまな取組を進めています。その推進役として大きな期待がかけられているのが「コミュニティ・スクール」です。

コミュニティ・スクールには、保護者や地域住民などから構成される「学校運営協議会」が設けられ、学校運営協議会が学校運営の基本方針を承認したり、教育活動などについて意見を述べたりすることを通じて、地域の皆さんの意見を学校運営に反映させます。

### コミュニティ・スクールのイメージ



★コミュニティ・スクールでは、教育課程の編成など学校運営の基本的な方針について、学校運営協議会が承認を行います。学校と地域が一体となって教育方針を決めていきます。

★学校運営協議会は、目指す教育方針の実現のために「こんな先生に来てほしい！」と教育委員会に意見を述べることができます。教育委員会は、その意見を尊重して人事を行います。

## Q 1. コミュニティ・スクールは、普通の学校とどこが違うのですか？

**A** コミュニティ・スクールも、公立学校に変わりはありませんが、その運営に当たって、保護者や地域の皆さんの参画が仕組みとして保障されていることが他の学校との違いです。

コミュニティ・スクールに指定されている学校では、この仕組みを活用して、地域の意見を踏まえ、地域の協力を得た教育活動(例えば、学校支援ボランティアと協働した学力向上の取組や、地域の特性を生かした体験活動・行事の実施)を展開したり、地域の力を借りて放課後や土日の子どもたちの居場所づくりを行ったりといった取組が進んでいます。

学校と地域が力を合わせることによって、互いに信頼し合い、それぞれの立場で主体的に地域の子どもたちの成長を支えていく、そんな学校づくり、地域コミュニティづくりを進めていくことが、コミュニティ・スクールの一番のねらいです。

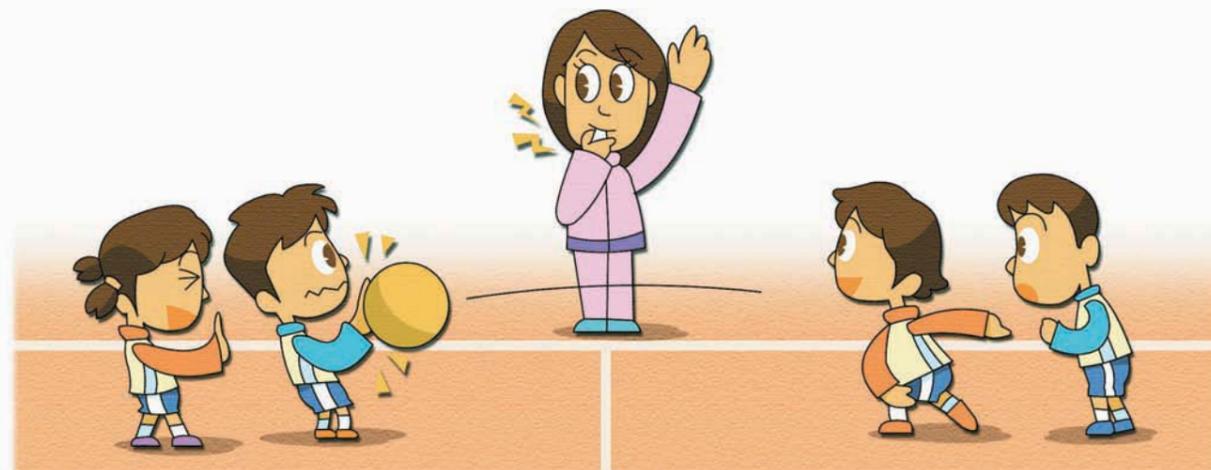
## Q 2. 地域の学校をコミュニティ・スクールにするには、どうすればよいですか？

**A** コミュニティ・スクールは、小・中学校はもちろん、幼稚園や高等学校などの地域の公立学校に導入可能です。導入するかどうかは、学校、保護者や地域の皆さんの意向等を踏まえて、学校を設置する地方公共団体の教育委員会が決定します。ぜひ一度、地元の教育委員会にお問い合わせください。

## Q 3. 学校運営協議会の委員には、誰でもなれるのですか？

**A** 学校運営協議会の委員として、必ず含まれることが必要とされているのは、保護者や地域の住民です。それ以外のメンバーについては、学校や地域の実情を踏まえて教育委員会で定めることとなっています。

また、委員の選出方法など具体的な手続きについても教育委員会で定められます。委員構成のバランス等にも配慮しつつ、公募制、推薦制なども活用して幅広い分野から熱意ある優れた人材を選んでもいただくことが期待されます。



# コミュニティ・スクールの指定状況

(平成22年4月1日現在)

現在 **629** 校

(幼稚園36園、小学校428校、中学校157校、高等学校3校、特別支援学校5校) が指定されています。

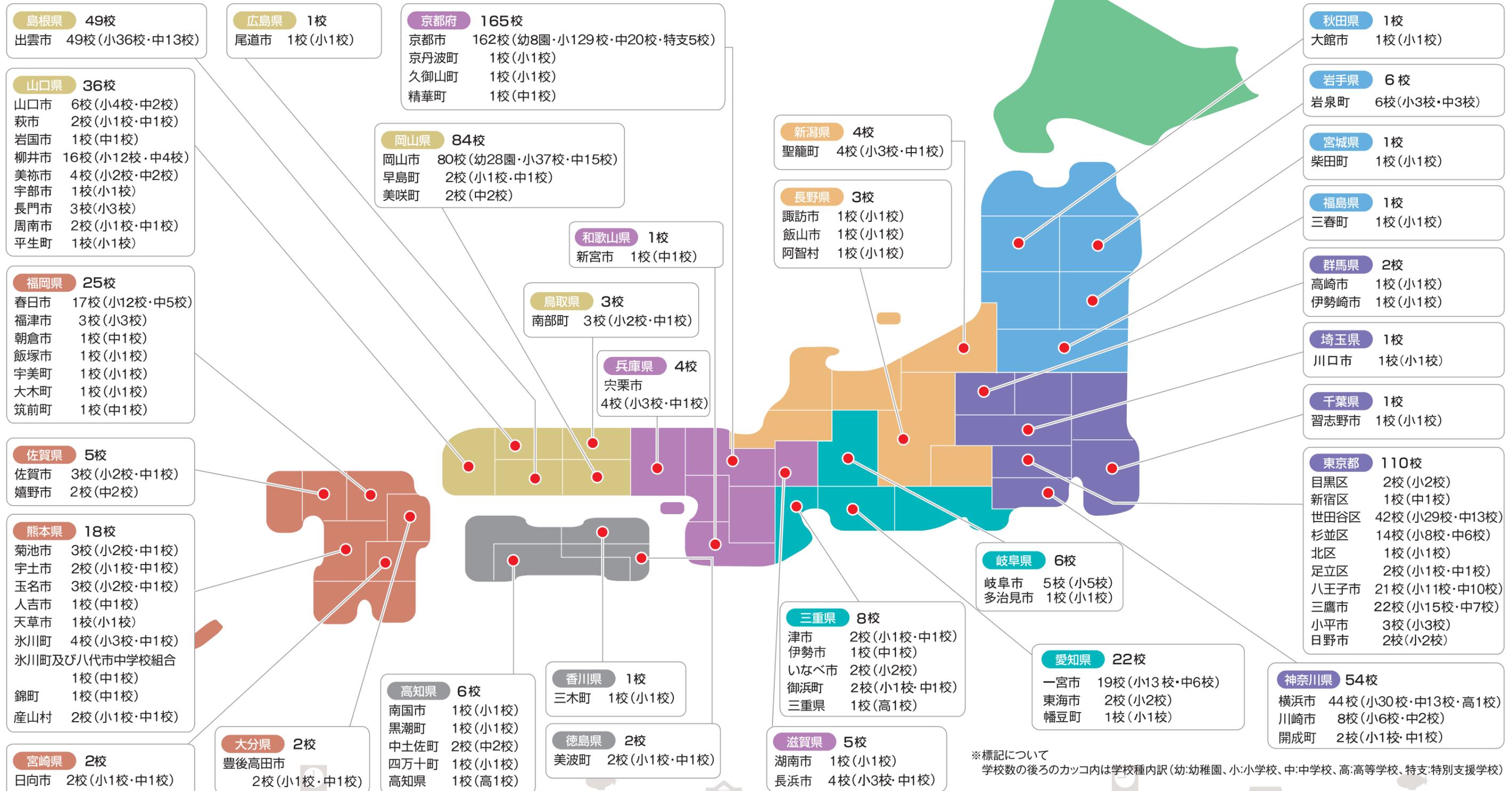
このほか、多くの学校で指定に向けた検討が行われています。

◇文部科学省では、コミュニティ・スクールを積極的に推進しています。

☆平成22年度 コミュニティ・スクールの推進に係る調査研究事業委託校：28都府県3指定都市 238校

☆平成22年度 コミュニティ・スクール推進協議会：全国4会場で開催

☆平成22年度 地域と一体となった学校づくりの推進に向けた制度等活用説明会：全国20地域で開催予定



※標記について  
学校数の後ろのカッコ内は学校種内訳(幼:幼稚園、小:小学校、中:中学校、高:高等学校、特支:特別支援学校)